

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-234493

(43)Date of publication of application : 27.08.1999

(51)Int.Cl.

H04N 1/21  
B41J 5/30  
B41J 29/38  
G06F 3/12  
H04N 1/00

(21)Application number : 10-035931

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 18.02.1998

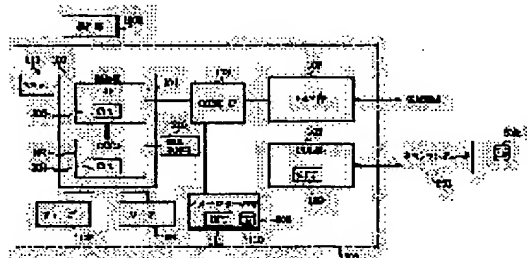
(72)Inventor : KUBOKI YOSHIKI

## (54) IMAGE STORAGE DEVICE

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To store image data from a host computer in a memory box without troubling the user even when the memory box provided in a copying machine is fully occupied.

**SOLUTION:** A large capacity hard disk 306 is provided in a copying machine 200 connecting to a host computer 501 via a network. The hard disk 306 has a memory box area having pluralities of memory boxes. A control section 100 of the copying machine transfers image data stored in a memory box to the host computer 501 and deletes image data corresponding to the transferred image data from the memory box. Furthermore, depending on a space capacity of the memory box, the image data transferred to the host computer 501 are returned so as to be again stored in the memory box.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

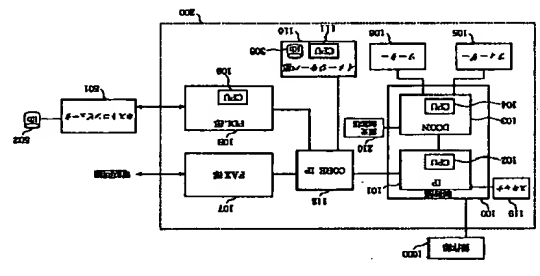
[Date of extinction of right]

特開平 1 1 - 2 3 4 4 9 3  
(43) 公開日 平成 11 年 (1999) 8 月 27 日

(51) Int. Cl. <sup>8</sup>	F I
H 0 4 N 1 / 21	H 0 4 N 1 / 21
B 4 1 J 5 / 30	B 4 1 J 5 / 30
29 / 38	29 / 38
G 0 6 F 3 / 12	G 0 6 F 3 / 12
H 0 4 N 1 / 00	H 0 4 N 1 / 00
審査請求 未請求	請求項の款 1 2
	OL (全 1 8 頁)
(21) 出願番号	特願平 10 - 35931
(22) 出願日	平成 10 年 (1998) 2 月 18 日
(71) 出願人	0000001007 キャノン株式会社 東京都大田区下丸子 3 丁目 30 番 2 号
(72) 発明者	久保木 豊樹 東京都大田区下丸子 3 丁目 30 番 2 号 キャノン株式会社内
(74) 代理人	弁理士 丸島 徹一

(54) 発明の名称 画像記憶装置

(57) 要約  
【課題】 複写装置に設けられたメモリボックスがフルでも、ユーザの手を煩わすことなくホストコンピュータ 501 からの画像データをメモリボックスに格納できるようにする。  
【解決手段】 ホストコンピュータ 501 とネットワークを介して接続されている複写装置に、大容量のハードディスク 306 が備えられている。ハードディスク 306 内には、複写のメモリボックスを有するメモリボックス領域 306b が存在する。この複写装置の制御部において、メモリボックスに記憶された画像データをホストコンピュータ 501 に転送し、転送した画像データに対して画像データをメモリボックスから消去する。また、メモリボックスの空き容量に応じて、ホストコンピュータ 501 に転送済みの画像データを再びメモリボックスに格納するよう返送させる。



記載の画像記憶装置。  
【請求項 10】 前記外部装置はハードディスクを有するホストコンピュータであることを特徴とする請求項 1 記載の画像記憶装置。  
【請求項 11】 前記選択手段は予めユーザにより設定された優先順位に基づいて、前記第 2 の記憶手段を有する外部装置に転送する画像データを選択することを特徴とする請求項 12 の画像記憶装置。  
【請求項 12】 ネットワークを介して外部装置と接続された画像記憶装置の画像データ処理方法において、入力した画像データを第 1 の記憶手段に記憶するステップと、  
前記第 1 の記憶手段に記憶された画像データのなかから第 2 の記憶手段を有する外部装置に転送する画像データを選択するステップと、  
選択した画像データをネットワークを介して前記外部装置に転送するステップと、  
転送した画像データを消去するステップと、  
前記第 1 の記憶手段の空き容量に応じて、前記外部装置に転送済みの画像データを前記第 1 の記憶手段に再び記憶するようネットワークを介して返送させる制御手段と、を有することを特徴とする画像記憶装置。  
【請求項 2】 前記選択手段は、前記第 1 の記憶手段に記憶された画像データのデータ量が予め決められた値に達したことに応じて、前記第 1 の記憶手段に記憶された画像データのなかから前記外部装置に転送する画像データを選択することを特徴とする請求項 1 記載の画像記憶装置。  
【請求項 3】 前記選択手段は、入力するべき画像データのデータ量に応じて、前記第 1 の記憶手段に記憶された画像データのなかから前記外部装置に転送する画像データを 1 または複数選択することを特徴とする請求項 1 記載の画像記憶装置。  
【請求項 4】 前記転送手段は、前記第 2 の記憶手段の空き容量に応じて、前記転送手段により選択した画像データを前記外部装置に転送するか否かを判断することを特徴とする請求項 1 記載の画像記憶装置。  
【請求項 5】 前記画像記憶装置はネットワークを介して複数の外部装置と接続可能であり、前記転送手段は前記選択手段より選択した画像データをネットワークを介して前記複数の外部装置の何れかに転送することを特徴とする請求項 1 記載の画像記憶装置。  
【請求項 6】 前記転送手段は前記外部装置に転送した画像データに対して転送した画像データに関する情報を記憶することを特徴とする請求項 5 記載の画像記憶装置。  
【請求項 7】 前記画像記憶装置に記憶する情報は画像データを転送した転送先のアドレス、画像データを転送した時刻及び転送した画像データのデータ量であることを特徴とする請求項 6 記載の画像記憶装置。  
【請求項 8】 前記制御手段は、前記転送手段により記憶した画像データに関する情報に基づき、所定のタイミングで前記外部装置に転送済みの画像データを前記記憶領域に返送させることを特徴とする請求項 6 記載の画像記憶装置。  
【請求項 9】 前記画像記憶装置は、前記第 1 の記憶手段に記憶される画像データに基づいてシート上に画像形成する画像形成手段を有することを特徴とする請求項 1

をプリントすることが提案されている。

【0005】メモリボックスにはプリントする為に一時的に記憶されている画像データの他に常駐している画像データを受得する。

【0011】PDL部108は、ハードディスク502を有する外部のホストコンピュータ501から出力されたPDLをビットマップ画像に展開し、画像データとしてCORE PIP部111に出力する。また、PDL部108はネットワークを介して外部装置と情報をやり取りするネットワークインターフェースとしての機能を備えている。

【0012】イメージサーバ部110は、ホストコンピュータ501からの画像データをCORE PIP部112を介して格納する機能を有し、CPU111によって制御される。また、イメージサーバ部110はCORE PIP部112を介しPDL部101に接続されており、画像出力のアクセス等が行なわれる。尚、イメージサーバ部110はハードディスク306を有している。

【0013】図2は、本発明の実施形態である複写装置200の断面図である。第1の可動体203は露光ランプ201と第1のミラー202で構成される。不図示のモータにより第1の可動体が所定方向に往復されて、ブラテンガラス260上の原稿からの反射光は第1、第2、第3のミラー202、204、205、レンズ207を介してCCDラインセンサ208に結像される。第2の可動体206は第2のミラーと第3のミラーで構成され、第1の可動体203の走査に対して1/2のスピードで移動する。

【0014】CCDラインセンサ208は結像された反射光を基にライン単位で光電気変換を行う。光電気変換された信号は、不図示の信号処理部でPWM変調されて出力される。

【0015】露光制御部210は、PWM変調された画像信号を基に感光体240の表面に光ビームを照射する。この時、ドラム状の感光体240の軸方向に対し平行に光ビームを走査する。また、露光制御部210は走査ファン209により冷却される。

【0016】尚、感光体240に光ビームを照射する前に、図示せぬ前露光ランプによりドラム上の残留電荷を除電し、1次帯電器228でドラム上を均一に帯電させている。感光体240は回転しながら光ビームを受け、ドラム表面に静電潜像が形成される。現像器211は、ドラム表面の静電潜像を所定色の現像材（トナー）で可視化する。

【0017】リフトアップ225、226は記録紙搬送部223、224に積載取組まれている記録紙を給送ローラ229、232の位置まで持ち上げるよう制御されている。また、給送ローラ229、232は図示せぬモータにより駆動され、搬送しないよう記録紙搬送部223、224のどちらか一方から記録紙を給送するように制御されている。

【0018】記録紙搬送部223から給送された記録紙

は給送ローラ230、235を介しレジストローラ238まで給送され、記録紙搬送部224から給送された記録紙は給送ローラ233、234、235を介しレジストローラ238まで給送される。

【0019】尚、記録紙搬送部224の下方にさらに記録紙搬送部を設けた場合は、給送ローラ231により記録紙を給送する。また、給送ローラ236は図のように手差しトレイ237を開いて手差し給紙する場合に、記録紙をレジストローラ238まで給送する。

【0020】レジストローラ238は、感光体240に形成された画像と画像先端のタイミングをあわせて記録紙を給送する。転写帯電露239は、感光体240に現像されたトナー像を記録紙に転写する。転写後、感光体240に残ったトナーはクリーナー227により除去される。また、除電針244に電圧をかけ、感光体240と記録紙との間の吸着力を弱めることで、感光体240から記録紙を分離し易くしている。

【0021】感光体240から分離された記録紙は搬送ベルト241を介し定着部212、213に送られ、定着される。定着部212はセラミック・ヒータ、及びブイルム、2つのローラで構成されている。給送ローラ214は、定着部ローラ213を放熱する。給送ローラ215は大ローラ1個と小ローラ2個から構成されており、記録紙の巻き癖を矯正し、記録紙を給送する。

【0022】片面印刷の場合は、排紙口方向に方向フラップ224を切り替え、排紙ローラ216を介して排紙トレイ222を切り替える。両面印刷の場合は、給送ローラ217に記録紙を送るよう方向フラップ222を切り替える。

【0023】給送ローラ217は給送ローラ215と同様に構成であり、記録紙の巻き癖を矯正し、中間ローラ243に記録紙を給送する。

【0024】尚、紙詰まり等のエラー検知や各部動作のタイミングを計る為に、不図示の紙検出センサが記録紙の給送路に配置されている。第1のセンサは給送ローラ235の手前、第2のセンサはレジストローラ238の手前、第3のセンサは給送ローラ215の手前、第4のセンサは給送ローラ216と排出口との間、第5のセンサは給送ローラ217の直後、第6のセンサは分離レーラ220の手前に配置されている。

【0025】図3はLANケーブル500を介して複写装置200にホストコンピュータ501が接続されていることを示す図である。LANケーブル500は複写装置内にあるPDL部108に接続されている。ホストコンピュータ501は、画像データを格納する為のハードディスク502を有している。

【0026】ホストコンピュータ501はハードディスク502に格納されている画像データを読み出し、LANケーブル501経由で複写装置200に画像データを送る。

【0027】図4を用いてイメージサーバ部110の詳細を説明する。イメージサーバ部110は画像メモリ300、301を有し、これらはそれぞれメモリコントローラ303、304により制御され、それぞれA4サイズの画像データを取り込むだけの容量を持っている。

【0028】メモリコントローラ303、304は制御バス305を介してイメージサーバCPU111に接続されており、イメージサーバCPU111により制御されている。尚、イメージサーバCPU111は現時点を認識する時計機能を備えている。

【0029】また、画像メモリ300、301はビデオバス302を介しCORE PIP部112に接続されており、画像データの出力を行う。また、画像メモリ300、301はハードディスク306とも接続されており、画像メモリ300、301に格納された画像データは最終的にはハードディスク306に格納される。

【0030】イメージサーバ部110は2つの画像メモリを有することにより、ダブルバッファ処理を行うことが出来る。即ち、片方の画像メモリの画像をハードディスク306に書き込み中に、もう片方の画像メモリを用いてCORE PIP部112からの画像データを受得する。

【0031】また、画像サイズがA4を超える場合、両方の画像メモリを連続して（一枚のメモリとして）使用するカスケードバッファとして用いる。

【0032】図5を用いて、ハードディスク306の内部構成について説明する。ハードディスク306はデータ部構成として説明する。ハードディスク306はデータ部領域306aとメモリボックス領域306bを有する。データ部領域306aは電子ソート処理等のため、画像データを一時的に貯えておく領域であり、ジョブ終了後に、画像データは消去される。メモリボックス領域306bは画像データを登録しておく為の領域である。

【0033】本形態では、メモリボックス領域306b内に100個のメモリボックスが存在し、それぞれメモリボックスに対応したボックス番号がつけられている。図5の斜線部はメモリボックス領域306bを使用している割合を示している。

【0034】また、データ部領域306aとメモリボックス領域306bの容量（配分）はユーザが任意に変更することが出来る。例えば、1GBのハードディスクの場合、300MBをデータ部領域306a、700MBをメモリボックス領域306bに分けて使用する。【0035】図6はハードディスク306のメモリボックス領域306bに100個のメモリボックスが存在している様子を示している。各メモリボックスは予めユーザ登録されている。

【0036】図7ではユーザAがボックス番号3のメモリボックスに任意の名称とパスワードを登録し、そのボッ

クスの所有権を得ている。同様にユーザIDはボックス番号1のメモリボックスの所有権を得ている。登録は複写装置の操作部1000より行う。

[0037] 図7はホストコンピュータ501から指定したメモリボックスに画像データを格納する様子を示している。図はメモリボックス1に画像データXが、メモリボックス3に画像データXが格納されたことを表している。メモリボックスに画像データを格納する際には、画像データに付加される諸情報（格納された日付、時刻、ファイル名、ページ数、画像データのデータ量等）も格納する。

[0038] 図8を用いてメモリボックスに格納されている画像データをプリントする際の動作について説明する。複写装置の操作部1000でユーザにより入力されたメモリボックス番号とメモリボックスに対応したアドレス、画像データのファイル名に基いて画像データをプリントする。尚、パスワードはメモリボックス毎に異なっている。

[0039] メモリボックスに格納された画像データはメモリボックスに対応したパスワードが入力されない限り、プリントされないで、勝手に複写装置から画像データがプリントされると言うことになり、よって、他の人がプリントした画像データと一緒になったり、他人がプリントした画像データと一緒にならない。

[0040] 図9のフローチャートを用いて、ハードディスク306内にあるユーザに対応したメモリボックスに画像データを格納する際の処理を説明する。この処理はイメージャー部CPU111により行われ、ホストコンピュータ501から画像データが送られる際に実行される。尚、メモリボックスはユーザ毎に割り当てられているので、CPU111は各メモリボックスに対して個別に処理を行う。

[0041] まず、複数ページからなる画像データを格納する際に必要な諸情報（メモリボックスに対応したボックス番号、画像データのファイル名、画像サイズ、ページ数等）を受信する（ステップS1）。

[0042] ステップS1の処理に基づいて、メモリボックスに画像データを格納するためのパラメータを設定する（ステップS2）。1頁分の画像データの格納を開始したか否か調べる（ステップS4）。1頁分の画像データが完了したら、全ページ分の画像データをメモリボックスに格納したか否か調べる（ステップS5）。

[0043] ステップS4の処理に基づいて、メモリボックスに画像データを格納するためのパラメータを設定する（ステップS2）。1頁分の画像データの格納を開始したか否か調べる（ステップS4）。1頁分の画像データが完了したら、全ページ分の画像データをメモリボックスに格納したか否か調べる（ステップS5）。

[0044] ステップS12で調べた画像データがプロセッサ501に格納されている画像データの場合、ホストコンピュータ501に対してメモリボックス内の画像データを転送する要求を出す（ステップS16）。ステップS16は、ホストコンピュータのハードディスク502に空き容量があるか否か調べたり、ホストコンピュータがビジー中で使用できないか否か確認するための処理である。

[0051] ステップS15に対するホストコンピュータ501からの回答データを受信し、受信した回答データに基づき、画像データを転送するか否か決める（ステップS16）。このステップS16の処理により、メモリボックス内に画像データがあるか否か調べたり、ホストコンピュータ501に転送したことが原因で、ホストコンピュータのハードディスク502のメモリがフルになることを防ぐ。

[0052] 画像データを転送しない場合は、操作部1000にメモリボックスがフルになっていることを通知する（ステップS14）。そして、処理を終了する。画像データを転送する場合は、ステップS12で処理した

ボックス番号、画像データのファイル名、画像サイズ、ページ数等）を受信する（ステップS31）。

[0061] ステップS1で受信した情報に基づいて、複数ページからなる画像データのデータ量を計算する（ステップS32）。次にメモリボックスの空き容量を調べる（ステップS33）。ステップS1及びステップS2の処理に基づき、複数ページからなる画像データをメモリボックスに格納できるか否か調べる（ステップS34）。

[0062] 複数ページからなる画像データをメモリボックスに格納できない場合は、画像データ転送タスクを起動する（ステップS39）。画像データ転送タスクを起動し、メモリボックス内の画像データをホストコンピュータ501に転送し、転送した画像データに対応した画像データをメモリボックスから削除したらステップS34に戻る。

[0063] 複数ページからなる画像データをメモリボックスに格納できる場合は、画像データをメモリボックスに格納するためのパラメータを設定する（ステップS35）。

[0064] 1頁分の画像データの格納を開始する（ステップS36）。1頁分の画像データの格納が完了したか否か調べる（ステップS37）。このステップS37は1頁分の画像データの格納が完了するまで繰り返される。

[0065] 1頁分の画像データの格納が完了したら、全ページ分の画像データをメモリボックスに格納したか否か調べる（ステップS38）。全ページ分の画像データをメモリボックスに格納したら処理を終了する。全ページをメモリボックスに格納していない場合はステップS36に戻る。

[0066] 図12は上述した処理のステップS11で作成する画像データ情報テーブルである。このテーブルは上述したイメージャー部にあるRAM308にコードの形で記憶されており、ホストコンピュータ501に画像データを転送する際に随時書き換えられる。

[0067] RAM208には画像データ情報1、画像データ情報2といった、画像データ毎の情報が記憶されている。画像データ情報として例えば、画像データを転送した転送先のアドレス、画像データを転送した時刻、画像データの容量、転送した画像データに対応した属性情報（画像データのXY方向のサイズ、ファイル名、ページ数、圧縮等）が記憶される。

[0068] 図13の画面600は不図示の画面で指定されたメモリボックスに格納されている画像データに関する情報（格納された日付、時刻、文書名、ページ数、プリント済みか否か等）を表示する際のメモリボックス基本画面である。この画面は操作部1000に表示される。尚、画面600はタッチパネルとなっており、それぞれ表示される機能の枠内に触れることにより、その機

能を実行する。

プロセッサが設定されていない画像データをホストコンピュータ501に転送する（ステップS17）。

[0053] ステップS17で転送する画像データはPDL部108、LAN500を介してホストコンピュータ501に転送され、ホストコンピュータのハードディスク502に格納される。

[0054] 尚、画像データの転送経路としてLANを用いているが、例えばSCSI、ファイバopticなどを介してホストコンピュータ501に画像データを転送しても良い。また、LANの種類も限定せず、イーサネットやトークンリングでも構わない。FAX機能も具備しているものならば、電話回線を用いて画像データを転送しても良い。

[0055] 転送した画像データに対応する画像データ転送情報を作成し、画像データ情報テーブルを作成する（ステップS18）。ステップS18では、転送した画像データに関する情報を画像データに付加して記憶し、更にそれに基づいて画像データ情報テーブルを作成する。

[0056] ホストコンピュータ501に画像データを転送したことをステップS18で記憶した画像データ転送情報に基づいて、操作部1000に通知し、操作部1000はそれを表示する。（ステップS19）。転送した画像データに対応した画像データをハードディスク306から消去する（ステップS20）。ステップS20の処理が終了したら上述した処理のステップS3へ戻る。

[0057] 図10のフローチャートを用いて説明した処理は、イメージャー部CPU111により行われる。尚、ステップS12の処理をステップS11の処理より先に行っても良い。この場合、メモリボックスに格納されている画像データのなかから、プロセッサが設定されていない画像データを選択し、選択した画像データの中で最もメモリボックスに格納して時間が経過している画像データをホストコンピュータ501に転送する。

[0058] 図9及び図10のフローチャートを用いて説明した処理により、メモリボックスのメモリがフルになったら、メモリボックス内の画像データをホストコンピュータ501に転送し、転送した画像データに対応した画像データをハードディスク306から消去する。メモリボックスの空き容量が増える。よって、メモリボックスがフルになっても、ホストコンピュータ501からの画像データをメモリボックスに格納することができ。

[0059] 尚、以下に説明する処理に基づいて、画像データ転送タスクを起動しても良い。図11のフローチャートを用いて説明する。

[0060] まず、複数ページからなる画像データを格納する際に必要な諸情報（メモリボックスに対応したボ



る。よって、メモリポックス内の画像データを転送できる転送先が複数存在するので、実施形態1で述べた画像データ転送タスクとは異なるタスクが起動される。

[0108] 図23のプロチャートを用いて、画像データ転送タスクについて説明する。この画像データ転送タスクが起動するより前の処理は、図9を用いて説明した処理と同様であり、このタスクは図9のステップS7に対応している。

【0109】まず、画像データに付加される諸情報を基に、メモリポックスに格納されている画像データのなかからメモリポックスに格納されて最も時間が経過している(古い)画像データを検出する(ステップS561)。

【010】ステップS61で検索した画像データはプロセクトが設定されている画像データか否かを調べる(ステップS62)。プロセクトとはメモリボックスに格納された画像データに付随する属性であり、ユーザにより

【0111】プロテクトが設定されている画像データはメモリボックスがフルになっても、ユーザから直接指示が無い限りメモリボックスから消去せず、ホストコンピュータ501、701、801のいずれにも転送しない。

【0112】ステップS62で調べた画像データがプロ  
テクトが設定されている画像データの場合は、メモリボ  
ックスに格納されているすべての画像データについて検

【0113】メモリボックスに格納されているすべての画像データについて検索した場合は、複写装置の操作部1000にメモリがフルであることを通知する（ステップS64）。そして、処理を終了する。

【0114】ステップS62で開いた画像データがプロテクトが設定されていない画像データの場合は、ホストコンピュータ501、701、801のいずれかに対しメモリポッキング内の画像データを転送する為の要求を出す(ステップS65)。

【0115】ステップS65は、ホストコンピュータのハードディスクに空き容量があるか否か調べたり、ホストコンピュータがビジー中で使用できないか否か確認す

【0116】ステップS65の処理に対応するホストコンピュータからの回答データを受信し、受信した回答データに基づき、画像データを転送するかが決める(ステップS66)。

【0117】ホストコンピュータ側から画像データの転送を拒否された場合は、その他のホストコンピュータが複写装置200に接続されているか否か調べる（ステップ1157）。

【0118】その他のホストコンピュータが複写装置200に接続されていない場合は、複写装置の操作部100にメモリがフルであることを通知する（ステップS707）。

64)。そして、処理を終了する。

【0119】その他のホストコンピュータが接続されている場合は、画像データの転送を要求するホストコンピュータを選択する（ステップS68）。例えば、ホストコンピュータ501に画像データの転送を拒否された場合、その他のホストコンピュータ701、801のいずれかに画像データの転送を要求する。

【0120】ステップS66の処理に基づいて、画像データを送送する場合は、ステップS62で処理したプロセクトが設定されていない画像データをホストコンピュータに送送する（ステップS69）。送送した画像データに対応する画像データ送送情報を記憶し、画像データ情報テーブルを作成する（ステップS70）。

【0121】ステップS70では、転送した画像データに関する情報を画像データに対応づけて配列し、更にそれに基づいて画像データ情報テーブルを作成する。尚、転送先が複数ある場合は転送先が明確になるようテーブルを作成する。

【0122】ホストコンピュータに画像データを転送したことをステップS70で記憶した画像データ転送情報に基づいて、操作部1000に通知する(ステップS71)。

ドドイスク306から消去する（ステップS72）。

[0123] ステップS72の処理が終了したら、実施形態1で述べた処理のステップS3に戻る、これらの処理は、イメージサーバのCPU11により行われる。

【0124】このように撮写装置200に複数のホストコンピュータが接続されていれば、画像データを転送できるホストコンピュータを探し、その結果に基づいてメ

メモリボックスの画像データを転送し、転送した画像データに対応した画像データをハードディスク306から消去する。

【0125】 によって、メモリボックスがフルになって  
も、ホストコンピュータ501からの画像データをメモ  
リボックスに格納することができるという効果が一層高  
まる。

【0126】尚、上述したステップS61及びステップS62の処理は、ホストコンピュータに転送する画像データを選択する為の処理だが、これらの処理の代わりに、予めユーザがメモリボックス内の画像データに対して優先順位を付けておき、それに基づいてCPU11が、優先順位の低い画像データから順に転送するよう選

扱してもよい。  
【0127】また、メモリポックスや転送先であるホストコンピュータの管理手段はハードディスクに限定されるものではなく、例えば光磁気ディスク、DAT等でもよい。

【0128】図24の画面610aは操作部1000に  
表示される画面である。この画面610aは、ユーザが

50 表示される画面である。この画面610aは、ユーザが

を押下した際に表示される画面である。

【0129】例えば、図24の画面610aでは、メソ  
リボックス内の資料2の画像データに関する情報とし  
て、資料2が11月19日の22時23分にポストコン  
ピュータ3に転送され、ハードディスク306から消去  
されたことを表している。

[0130]

[illegible]

1-1の配性手段の空き容量に応じて、外部装置に転送さるべきデータを第1の配性手段に再び配性するようネットワークを介して返送させることにより、ユーザが第1の配性手段の空き容量を適宜に調整した状態に基づいて、第2の配性手段にデータを転送させることができる。

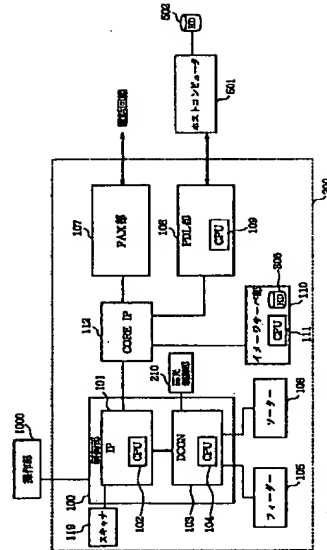
て外挿装置に送られる画像データを第1の記憶手段にネットワークを介して送達するよう外挿装置から指示しなくとも、第1の記憶手段に画像データを送達すること  
ができるので、常にユーザが第1の記憶手段を管理して  
いなくても良くなる。

【図面の簡単な説明】  
 【図1】複写装置の制御ブロック図である。  
 【図2】複写装置の断面図である。

【図3】複写装置にホストコンピュータが接続されていることを示す図である。

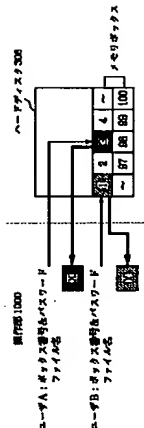
【図4】イメーザ部の詳細を示す図である。

**Figure 1**

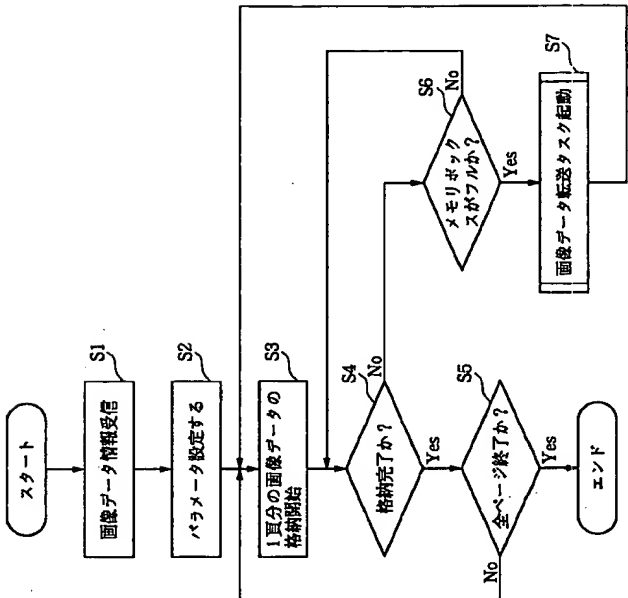


【圖】

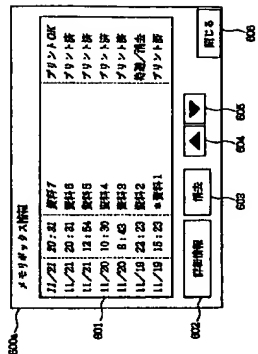
【図8】



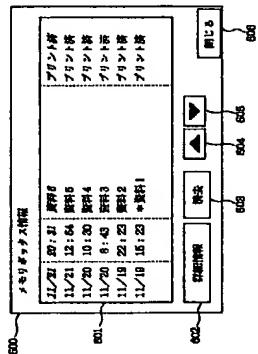
【図9】



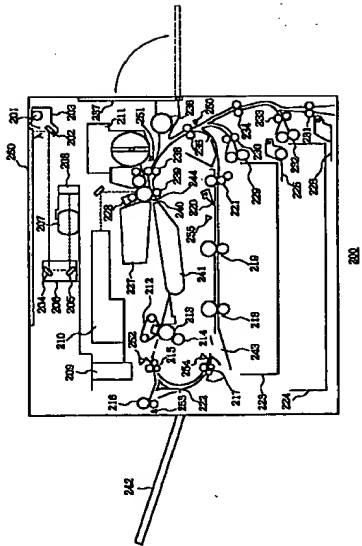
【図14】



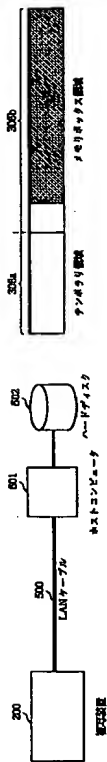
【図13】



【図2】



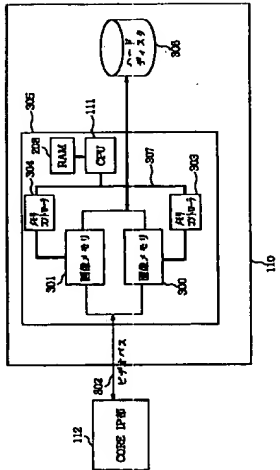
【図3】



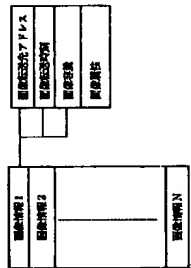
【図5】



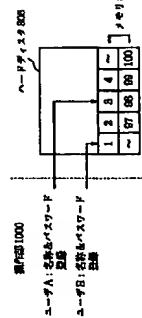
【図4】



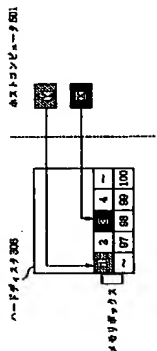
【図12】



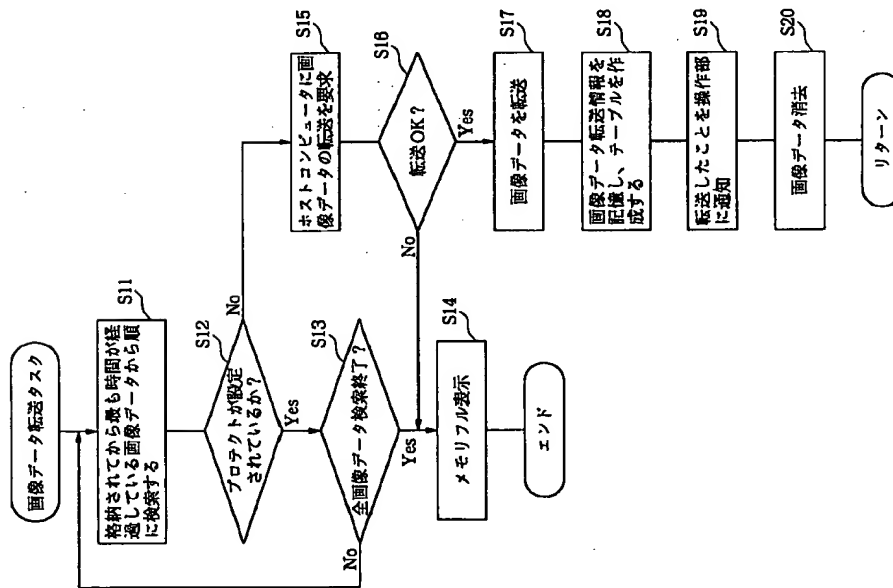
【図6】



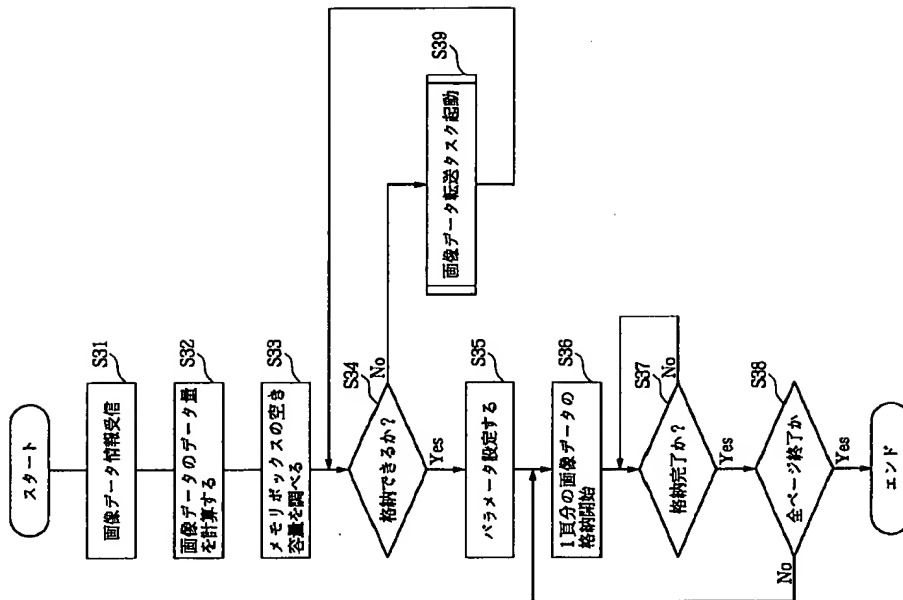
【図7】



【図10】

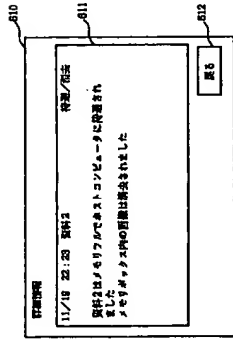


【図11】

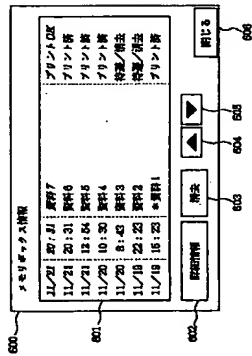




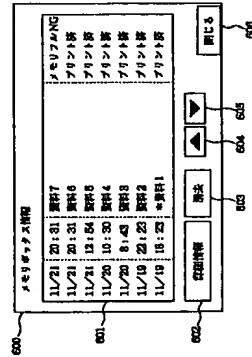
【図15】



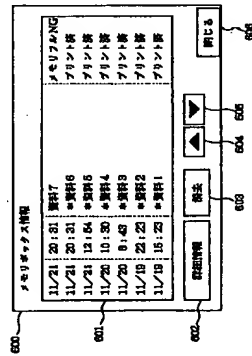
【図16】



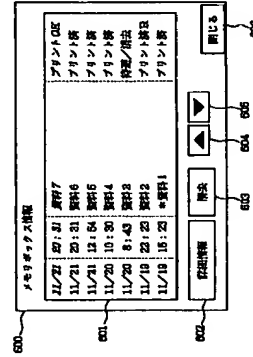
【図17】



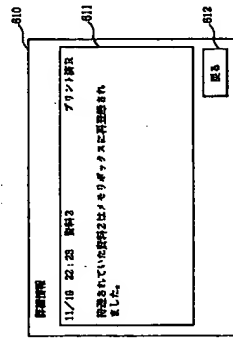
【図18】



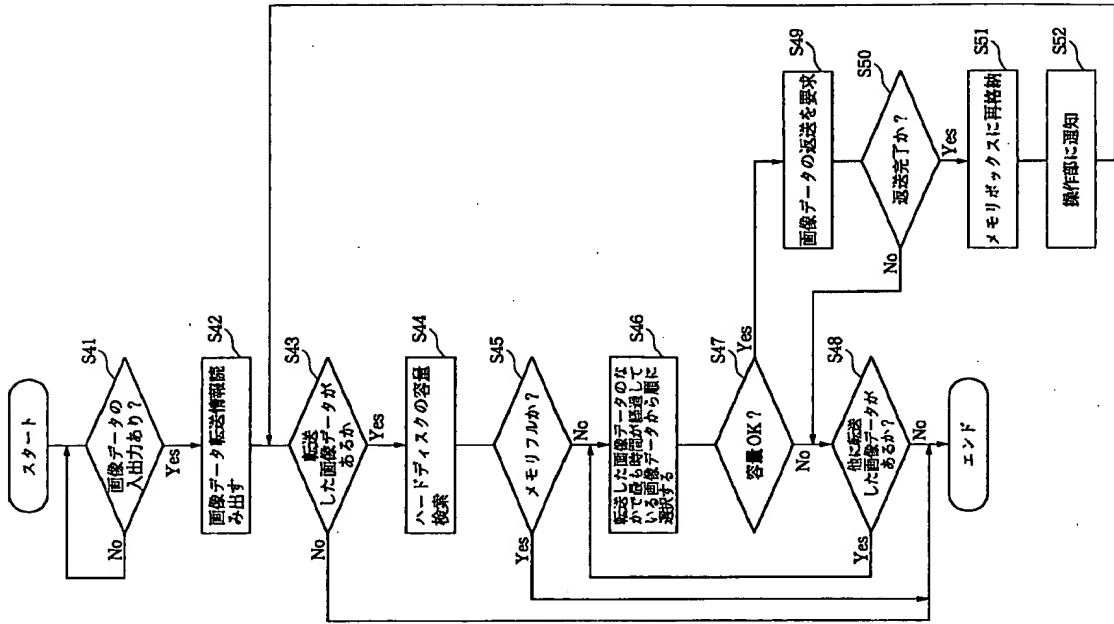
【図20】



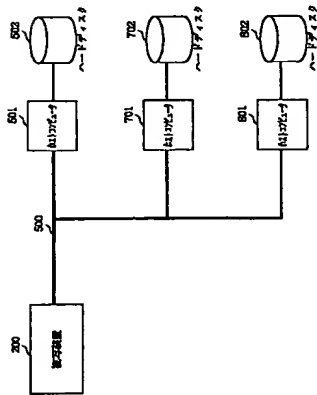
【図21】



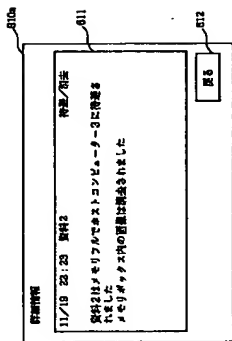
【図19】



【図22】



【図24】



【図23】

